



凡 例

- 1 アカガシ林 (萌芽林)
- 2 コジイ林 (萌芽林)
- 3 シリブカガシ林 (萌芽林)
- 4 コナラ林 (萌芽林)
- 5 アカマツ林
- 6 スギ・ヒノキ植林
- 7 竹林
- 8 ススキ群落
- 9 耕作放棄地
- 10 公園・緑地等
- 11 その他の用地
- 12 道路・鉄道
- 13 内水面
- 14 護岸・堤防
- 15 裸地

1:5,000



図 2-7-1 ② 景観構成要素分類図
(兵庫県重点モニタリング地域 2)



凡 例

- | | |
|----|--------------|
| 1 | アカガシ林（萌芽林） |
| 2 | コジイ林（萌芽林） |
| 3 | シリブカガシ林（萌芽林） |
| 4 | コナラ林（萌芽林） |
| 5 | アカマツ林 |
| 6 | スギ・ヒノキ植林 |
| 7 | 竹林 |
| 8 | ススキ群落 |
| 9 | 耕作放棄地 |
| 10 | 公園・緑地等 |
| 11 | その他の用地 |
| 12 | 道路・鉄道 |
| 13 | 内水面 |
| 14 | 護岸・堤防 |
| 15 | 裸地 |

1:5,000

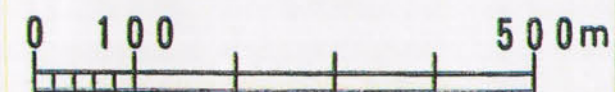


図 2-7-1 ③ 景観構成要素分類図
(兵庫県重点モニタリング地域 3)

2-7-2. 生物生息分布

兵庫県では、第2回調査時に生物生息分布図を作成せず、報告もなかったため、詳細については不明である。ここでは、景観構成要素図から、生物の生息に重要である場所または阻害要因をとりまとめた。

①P-1地域

当該地域における生息上重要な地域および生物の移動等を促進する要素は、この地域の大部分を占める、人為インパクトのかかっていない広葉樹林と混交林、および一部の谷に分布するスギ・ヒノキ植林である。

一方生物の移動等を阻害する要素としては、当該地域の南部に位置するキャンプ場への道路があげられる。

②P-2地域

当該地域における生息上重要な地域および生物の移動等を促進する要素は、この地域の大部分を占める、人為インパクトのかかっていない広葉樹林と混交林、一部の谷に分布するスギ・ヒノキ植林、および当該地域の中心部に位置する正面谷池である。

一方生物の移動等を阻害する要素は特にない。

③P-3地域

当該地域における生息上重要な地域および生物の移動等を促進する要素は、この地域の大部分を占める、人為インパクトのかかっていない広葉樹林と混交林、および集落跡地に分布するスギ・ヒノキ植林である。

一方生物の移動等を阻害する要素は特にない。